

## JP150 霧島山系・御池 (きりしまさんけい・みいけ)

宮崎県：えびの市、小林市、都城市、高原町

鹿児島県：霧島市、湧水町

位置	N 31° 55′ E 130° 53′
面積	8,500ha

### 環境構成【樹林】

縄文時代も中期から後期へ移った頃の今から約4,600年前、霧島山の歴史で最大の噴火があった。このたった1回の激しい噴火と爆発で大きな凹地ができ、そこに水がたまり火口湖となったのが御池。この御池の一部と周辺の森と小池を含む約115haが、1973年に指定された日本初の「国設・御池野鳥の森」。イチイガシを主とする野鳥の森の木は植林が多く、江戸時代の終わり頃の植林地もかなりの広さで残っている。ほとんど人の手が入っていないので自然林に近い森である。その後、野鳥の森は「鳥獣保護区・特別保護地区」に、更に一部が「生物遺伝資源保存林」に指定された。行政的には都城市と高原町にまたがる。野鳥の森は大部分が都城市側にあるが、便宜上、管理は高原町がしている。ここでは今までに少なくとも18種類の魚類、少なくとも18種類の哺乳類、151種類の鳥類が確認されている。この森は樹冠でほぼ閉鎖されていて、下草が少なく、地表近くに空間が広がり、ここがヤイロチョウの生活の場となっている。しかし、1990年頃から増えはじめたシカが、この森を変えつつある。



写真提供：中原聡

### 選定理由

A1	ヤイロチョウ
A3	-

### 保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（霧島）、国立公園（霧島錦江湾）、自然環境保全地域、保護林

## 保全への脅威

- ・シカの食害から来る林床部の変化、乾燥化。それが原因でヤイロチョウの餌となるミミズ減少のおそれ。
- ・老木の倒壊やマント群落、ソデ群落の消滅による林床部の変化、乾燥化。
- ・新燃岳噴火の影響（火山灰は雨に流され、時と共に深刻度は減っているが、一部セメント化している所もある。ヤイロチョウの餌であるミミズの棲息に影響が考えられる）
- ・バードウォッチャーやカメラマンの林床部へ入ってのヤイロチョウ追っかけ。（2010年からヤイロチョウの繁殖期に立ち入り規制をするようになり、2014年頃から環境の改善の兆しがあり、深刻度は減っている。）

## 鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化  
減っている（ヤイロチョウのみ）
- ・IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有  
＜調査データの入手方法＞ 個人から
- ・IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：  
変化がある  
詳細、具体例等：ヤイロチョウ目当てのバードウォッチャーの激増、森の乾燥化、シカの増加、新燃岳の爆発
- ・IBA 選定基準種の生息環境：  
悪い（40～70%が最適の状態）

## 保全活動

- ・環境管理：実施者（環境省、宮崎県、高原町、高原町観光協会）  
内容：国設御池野鳥の森と御池の普段の管理や整備
- ・環境教育活動：  
内容：探鳥会・夏、冬（日本野鳥の会宮崎県支部、高原町）  
＊夏の探鳥会はヒルが多く出るということで休止中。冬の探鳥会も鳥インフルエンザ関係で休止中。  
ハイキング・年に1回（御池青少年自然の家）  
探鳥会・冬鳥と巨木巡り（環境省、自然公園財団えびの高原ボランティアレンジャーの会）
- ・法律制定、政策、規制：実施者（環境省、森林管理署、宮崎県、高原町、高原町観光協会、日本野鳥の会宮崎県支部）  
内容：ヤイロチョウ繁殖時期の一部立ち入り規制
- ・モニタリング調査：

内容：通常の調査（御池野鳥の森、御池・えびの高原・他）

カモ調査（日本野鳥の会宮崎県支部）

・その他：

ヤイロチョウ保護活動（日本野鳥の会宮崎県支部）

御池・小池周辺の登山道整備(自然公園財団えびの支部)

## IBA サイトの保全に関係する地域のグループ

・えびの高原ボランティアレンジャーの会

・日本野鳥の会宮崎県支部

・宮崎県御池青少年の家

## 見られる鳥

2017年11月までで、御池、小池、野鳥の森の森林部を合わせて151種の鳥類が確認されている。そのうち、カモ類は20種である。アカショウビン、サンコウチョウはヤイロチョウと共に御池を代表する夏鳥である。なお、ヤイロチョウは1880年代の8つがい(推定)から2つがい(推定)に、カモ類は1880年代の17,000羽から1,000羽に減少している。

留鳥	クマタカ、ヤマドリ、キジバト、アオバト、フクロウ、カワセミ、アオゲラ、オオアカゲラ、コゲラ、キセキレイ、サンショウクイ、ヒヨドリ、ミソサザイ、トラツグミ、エナガ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、キバシリ、メジロ、イカル、スズメ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス
夏鳥	ミゾゴイ、サシバ、ツツドリ、ホトトギス、アオバズク、ヨタカ、アカショウビン、ヤイロチョウ、ツバメ、ヤブサメ、キビタキ、オオルリ、サンコウチョウ
冬鳥	マガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、ミサゴ、ノスリ、ビンズイ、ルリビタキ、ジョウビタキ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ミヤマホオジロ、アオジ、クロジ、アトリ、シメ、ウソ
旅鳥	コチドリ、マミジロ、クロツグミ、センダイムシクイ、エゾビタキ
迷鳥	ホオジロガモ、コウライアイサ、ユリカモメ、アジサシ、コクマルガラス

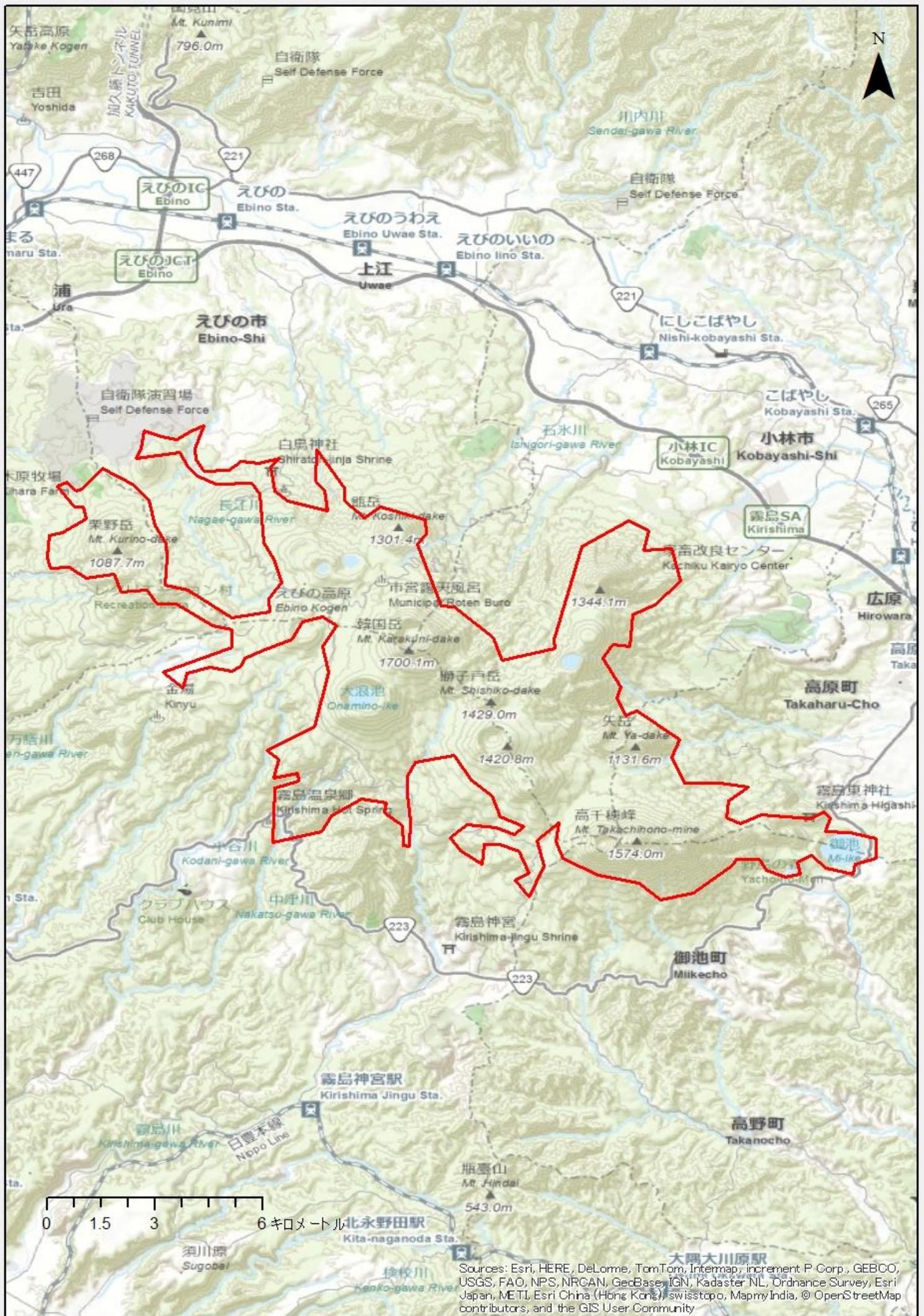
## 関連団体・自治体・施設等

・日本野鳥の会かごしま県支部

・高千穂河原ビジターセンター

・日本野鳥の会宮崎県支部

・えびの高原エコミュージアムセンター



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community